

平成27年第1回鹿角市議会定例会 代表質問

□質問順位及び質問所要時間

3月9日（月）午前10時～

- 1 宮野和秀 議員 誠心会 (40分)
- 2 兔澤祐一 議員 公明・鹿真会 (60分)

□質問時間割当表

	10:00	10:40	10:50	11:50
3月9日（月）	←宮野和秀→	休憩 10 分間	← 兔澤祐一 →	

平成 27 年 第 1 回 鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	1	会派名	誠心会	代表質問者	宮野和秀	質問所要時間	40分
質問事項				質問要旨			
1		政策研究の進捗状況とかづの創生への取り組みについて		<ul style="list-style-type: none"> ・鹿角市の人口減少の現状と課題をどのように捉えているのか伺う ・鹿角市の創生に向けて、進むべき方向性等、今後の取り組みに対する決意を伺う 			
2		かづの創生加速化予算の特徴について		<ul style="list-style-type: none"> ・本格的な施策、事業の実施は、鹿角版総合戦略を策定してからということだと思うが、補正予算や新年度予算において先行して取り組む人口減少対策や活性化対策に係る特徴的な施策、事業はどのようなものがあるのか伺う ・鹿角版総合戦略はいつまでに策定するのか伺う 			
3		地域消費喚起のための交付金活用事業について		<ul style="list-style-type: none"> ・国の今年度の補正予算において、消費税増税後の消費の停滞を回復させるための地域消費喚起の交付金が創設され、本市でも関連補正予算を提案しているが、市としては具体的にどのような事業を実施する予定か。特に、地元商店等への波及効果が重要と考えるが、その実施内容、規模等、詳細を伺う ・実施後の効果測定も求められていると聞いているが、どのような指標でこの効果を測定するのか伺う 			
4		農業構造改革への取り組みについて		<ul style="list-style-type: none"> ・本市のような多くの品目の農産物が生産される地域にとっては有効な手段であると思うが、販路の開拓はそう容易なものではないと思う。鹿角牛や北限の桃は徐々にブランド化してきているが、大半を占める園芸作物のブランド化は立ち遅れているように思う。今後の産地形成で重点的に進めようとしているこれら園芸作物を、どのような戦略で付加価値を付け、販路を開拓していくのか伺う ・このような販売を重視した経営をしていくためには、従来の生産指導体制から脱却し、商工業のノウハウも生かした企業的経営指導、支援体制が必要と考えるが、その経営指導体制をどのように構築していくのか、今後の取り組み方針を伺う 			

平成 27 年第 1 回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	1	会派名	誠心会	代表質問者	宮野和秀	質問所要時間	40分
質問事項				質問要旨			
5		秋田県種苗交換会について		<ul style="list-style-type: none"> ・種苗交換会は、前回の開催時には 76 万人の来場者があり、非常に大きな経済効果をもたらすものと期待している。10 年前は、市役所周辺の開発予定地を主会場に活用できたが、今回の主会場及び主な協賛会場の配置構想はどのように考えているのか伺う ・多くの来場者が訪れる絶好の機会でもあり、市の物産販売や観光宣伝だけでなく、地域消費喚起の観点からも、市や農協だけでなく、商工団体が一体となった取り組みも必要と考えるが、その方針について伺う 			
6		新教育委員会制度への対応について		<ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政に関する法律の改正に伴い、本年 4 月から教育委員会制度が大きく変わるが、経過措置期間が設けられており、段階的に移行していくものと思う。このうち、市長が主催する総合教育会議は、4 月以降速やかに実施しなければならないとされており、本市においても、速やかに設置することになると思うが、この総合教育会議は、執行機関である教育委員会に対してどのような権限を持つことになるのか伺う ・これまでに、本市の教育委員会と市長との関係は、特段問題なく推移してきていると思うが、今回の法律改正を教育委員会ではどのように捉えているのか伺う 			
7		小中学校の再編について		<ul style="list-style-type: none"> ・高校の再編が地域の大きな課題となっているが、小中学校においても、児童生徒数の減少により、いずれ統合再編は避けられないものと思う。文科省の指針も示され、市教育委員会としても将来の小中学校の再編等について検討していると思うが、小中学校の児童生徒数の現状、推移と今後の作業スケジュール等について伺う 			

平成 2 7 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.3

順位	1	会派名	誠 心 会	代表質問者	宮 野 和 秀	質問所要時間	4 0 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
8		保育園等の再編と新たな保育料について		<ul style="list-style-type: none"> ・八幡平なかよしセンターでは幼稚園が休園となっているが、幼稚園と保育園の機能をこのまま継続していくのか伺う ・将来とも大幅な児童数の増加が見込めない中で、今後のなかよしセンター及び八幡平地区全体の保育体制をどのようにしていくのか伺う ・子ども・子育て支援法等の制定に伴い、利用者負担額、いわゆる保育料の算定基準を定めた新たな条例が本会議に提案されているが、負担額は規則で定めることになる。本市では、これまで保育料の軽減を政策として実施してきたところであるが、本条例制定に伴って、保育料の水準は今後どのようなのか伺う 			

平成 27 年第 1 回鹿角市議会定例会代表質問

No. 1

順位	2	会派名	公明・鹿真会	代表質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
1		農業政策について		<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者等の担い手が利用する農地面積の割合目標を定めて、農地集積を加速させることが大切と考えるが、今後の対策について伺う ・農業所得が減ってきている現状を踏まえ、どこまで所得向上を目指していくのか伺う ・非主食用米の生産・利用拡大について、どのように進めていくのか伺う (飼料用米を活用した配合飼料の取り組みやかづの牛増頭政策と連携) ・担い手対策として、女性、若者、障がい者等、多様な担い手の活躍を促進してはどうか伺う 			
2		商店街の活性化について		<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化に向けて、商店街をコミュニティとしてよみがえらせるために、住民、小規模事業者、既存の支援機関、医療機関、NPO、行政等が一体となって取り組むことが必要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか伺う 			
3		地方創生の取り組みについて		<ul style="list-style-type: none"> ・地域に必要とされる「ひと」を還流させるため、魅力ある「しごと」をつくり、必要な「ひと」づくりを積極的に進めてはどうかと考えるがいかがか ・都市との交流を積極的に進め、移住・定住への人の流れをつくっていく施策も大切と考えるがいかがか ・鹿角に必要な人材の確保については、大学進学者の鹿角市内企業への就職を促進するため、奨学金の返済免除等の施策が必要と考えるがいかがか ・コンパクトシティ+ネットワークの推進も大切な視点ではないか。医療・福祉・商業等の機能を「まちなか」に誘導することと、地域公共交通ネットワークの再構築を進めるべきと考えるがいかがか 			
4		高齢者対策について		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康を管理する体制づくりが必要と考えるがいかがか 			

平成 27 年第 1 回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	2	会派名	公明・鹿真会	代表質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
5		介護について		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交流の場を、身近な町内会館等を活用し、健康づくりや介護予防ができる体制づくりを推進できないか伺う ・高齢者住宅の除雪体制として、「互助」による体制づくりを推進してはどうかと考えるがいかがか ・高齢者の交通手段の確保について、介護施設の送迎バス等を利用した福祉有償サービス等による交通支援システムを推進してはどうか伺う 			
6		子ども子育て支援について		<ul style="list-style-type: none"> ・今回の改正に伴い、要支援者は市町村が担うこととなり、予防介護サービスの低下を心配する方が多いが、どのように行っていくか伺う ・今回の改正で介護報酬が引き下げられたが、小規模事業者が窮地に立たないように適切な対応をとるべきと考えるがいかがか ・今後ますます増加すると思われる認知症対策については、早期の段階から家庭訪問を行い、認知症のアセスメントや家族支援を行う認知症初期集中支援チーム等の設置を考えてはどうか。あわせて、認知症サポーターの養成も進めてはどうか伺う 			
		子ども子育て支援について		<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産、出産直後の母と子をサポートする産後ケアと切れ目のない支援の推進と、利用者負担の軽減も必要と考えるが、現状対策はどのようになっているか伺う ・女性特有のがん対策については、市が検診台帳を整備し、コール・リコール事業を推進することや、精密検査を要する人への再勧奨も大切と考えるがいかがか 			

平成 2 7 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.3

順位	2	会派名	公明・鹿真会	代表質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
7		防災対策等への取り組みについて		<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオの設置件数並びに世帯数等、現在までの設置数と今後の設置予定、高齢者の反響等、どのようになっているか伺う ・地球温暖化によるゲリラ豪雨や大雨により、水害、土砂災害が全国で多発している。災害への備えを万全にするために、河川の流下能力強化等の予防的な対策を進めてはどうか伺う 			
8		教育の充実等について		<ul style="list-style-type: none"> ・今回の改正地方教育行政法施行に伴い、地方の実情に応じた教育振興に関する施策の大綱を策定することになっているが、その工程はどのようになっているか伺う ・この改正により、授業のあり方も変化するようだが、教育現場の実情を踏まえ、どのように進めていくか伺う ・いじめや不登校等、学校や生徒を取り巻く状況の複雑化、困難化にどのように対応していくのか伺う ・子どもの「読書離れ」「活字離れ」が指摘される中、今回、図書館がコモッセ内に整備されることをいい機会と捉え、「読書手帳」の配布等、読書意欲を促進する取り組みをしてはと考えるがいかがか ・高齢者世代で、生きがいと健康維持につながる学習支援、知識や経験を社会に還元できる機会の充実は大変に重要と考えるが、どのように推進していくのか伺う 			